



送 辞

冬の厳しい寒さも和らぎ、徐々に春の暖かさが感じられ、いよいよ春めいて参りました。晴れてご卒業を迎えられる皆様、ご卒業おめでとうございます。在學生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆様は、ご自身の大学生活を振り返ってみていかがだったでしょうか。入学したばかりの頃は、これから始まる大学生活に希望を抱きながらも戸惑いや不安も多かったかと思います。しかし、授業、幹事会、委員会活動、部活動、留学、アルバイト、ボランティアなどにおいて、たくさんの時間、日々努力を重ねていき、入学前と比較して、今、ご自身が成長していることを、実感されていることでしょうか。

そんな日々の努力を怠らない先輩方のお姿を通して、社会に貢献できる女性の在り方を目に焼き付けることができました。先輩方の立ち振舞いは、私たち学生に深く刻まれ、きっとこれからも武庫川女子大学の誇りとして受け継がれていくに違いありません。今、我が国は、このように男女共に教育を受けられ、自身の進路をそれぞれ自由に選択することができます。しかし、世界では、紛争や貧困において自由が限られた人、教育を受けられない人たちが存在していることを忘れてはなりません。

皆様は、マララ・ユスフザイさんを覚えていますか？彼女は、幼少期に女子校の教育者である父の影響を受け、教育の大切さを教えられて育ちました。タリバン占領下において、女性が学校に通うことを禁じられても、一人で女性の教育を発信し続けてきました。これがきっかけで、15歳の時、帰宅途中のバスで銃撃を受けましたが、奇跡的に一命を取り留め、その後も勇気を持って、危険を承知の上で、女性教育の重要性と女性が教育を受ける権利を発信し続けました。「私達の兄弟姉妹が、明るく平和な未来を待ち望んでいることを忘れてはならない」、「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、そして一本のペンが、世界を変える」と訴えた国連でのマララさんの演説は、世界中で報道され、困難な状況にある女性に勇気と希望を与え、女性に対する教育の在り方を世界規模で考え出す力を生み出しました。

女子校、女子大を設立した公江喜市郎先生の教えのもと、創立 80 周年を迎えた本学では、「立学の精神」にうたわれる「高い知性」「善美な情操」「高雅な徳性」を兼ね備えた社会に貢献できる女性を育成してきました。そして、本学で学んだ卒業生は、マララさんが発信し続けた女性教育の重要性を理解し、本学の全人教育の実施のもと、「幅広い教養と豊かな人間性」を身に付けて、社会に歩み始めることとなります。社会に貢献できる女性を育成する武庫川女子大学で学ばれた皆様は、様々な分野で活躍されることでしょうか。しかし、そこには、困難が待ち受けているかもしれません。時には、厳しい現実と直面することもあるでしょう。

しかし、どのような状況であっても自らの可能性を信じ、強い心を持ち、周りからの支えを得ながら、これからの未来を切り拓いていってください。皆様はこの武庫川女子大学に入学されてから今日までの間、数多くの出会いや経験をされたことと思います。それらの出会いや経験は、学生時代の良き思い出として、また、自身の生涯の宝として、今後、新しい場所で活躍される皆様の心を支えることになるでしょう。

今、皆様は胸一杯に夢と希望を抱き、新しい世界へ羽ばたこうとしていらっしゃると思います。どうかその夢と希望を絶やすことがないよう、本学で学ばれたことを糧にご活躍なさいますよう心よりお祝い申し上げます。これからは、私たち学生が、これまで先輩方が築いてくださった本学の伝統を守り受け継ぎ、武庫川女子大学がさらに素晴らしい学び舎となりますよう一層精進し、努力することをここに誓います。卒業後も時には母校を訪ね、元気なお姿を見せてくださると共に、私たちに励ましてください。私たち学生は、皆様と次にお会いできる日を心から楽しみにしております。

最後になりましたが、キャンパスにまもなく訪れる満開の桜のように皆様の人生が咲き誇りますよう、今後のご活躍とご多幸をお祈りしつつ、在学生一同心よりお祝いを申し上げ、ご卒業される皆様への送辞とさせていただきます。

令和 2 年 3 月 21 日

武庫川女子大学 文学部／健康・スポーツ科学部

在学生総代 文学部 心理・社会福祉学科

奥野未尋

